



学 校 だ よ り
令和6年9月20日②
校 長 室 発 行



河内小 HP

4月に実施した全国と岡山県の学力・学習状況調査の結果が出されましたので、自校の分析と検証をし、今学期から取り組みを始めています。学力・学習状況調査は、子どもたちの全ての力を示すものではありませんが、身に付けておくべき学力等について示される指標となります。児童の実態に合わせて、つまずきを解消するための手立てを行い、授業で力がつくように導きたいと考えています。

『生き生きかがやく河内の子』 ●自ら学び考える子 ●思いやりのある子 ●たくましい子 の具現化のために、教職員一同で取り組んで参りますのでご協力をお願いします。

■全国学力・学習状況調査（4月18日に6年生を対象に実施した調査）結果

学力調査結果 6年生 *正答率	市との差	県との差	国との差
国語	+4	+1	+1.3
算数	-3	-5	-6.4



■岡山県学力・学習状況調査（4月18日に3～5年生を対象に実施した調査）結果



学力調査結果【県との差】*正答率	国語	算数
3年生	-7.9	-3.4
4年生	+3.6	-1.3
5年生	-1.5	+5.1

※調査結果の一部の紹介です。

5年生の学校質問紙調査より

- | | | |
|-----------------------------|---------------|----------|
| 1) 学校に行くのは楽しいと思う。 | ◎当てはまる：河内小90% | (県55.5%) |
| 2) 将来の夢や目標を持っている。 | ◎当てはまる：河内小90% | (県71.8%) |
| 3) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。 | ◎当てはまる：河内小60% | (県33.7%) |
| 4) 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している。 | ◎当てはまる：河内小70% | (県39.3%) |
| 5) 人の役に立つ人間になりたいと思う。 | ◎当てはまる：河内小80% | (県77.2%) |
| 6) 自分が住んでいる地域が好きである。 | ◎当てはまる：河内小80% | (県68.5%) |

6年生は個別の差があるので、これまでのつまずきを解消するための学習時間をもっています。この取り組みを継続したいと思います。中学校進学に向けて、主体的に学べるように取り組み方を工夫したいと考えています。3～5年生は、問題の解き直しをして、自分が分からなかったところを意識しました。そして、今は自分の苦手な問題や分かっていた単元の類似問題に取り組んでいます。これからの学習状況を確認するために4～6年生は、「確かめテスト」を11月に実施する予定です。ご家庭においても自主学習で算数の問題に取り組む等、家庭学習の工夫や家庭学習の時間の確保をお願いします。

質問紙調査の回答でも分かるように、河内の子はやる気いっぱい、気持ちの優しい子どもたちです。縦割り班での活動では、高学年が低学年の子どもを導き、声をかけている様子はとても微笑ましい姿です。これからも子どものいいところをしっかりと褒めて、認めて、個性が伸びるように育てたいと思います。

*** 8 月 27 日の職員研修 ***

会場：高仙の里 余野 なつつばき

学校と地域でつくる 子どもの未来

「学校と地域でつくる子どもの未来 ～社会に開かれた教育課程の実現～」をテーマにした研修会を開きました。夏季研修なので校外の会場をお借りし、河内地区で総合的な学習の時間にかかわってくださっている地域の方々にも参加してもらって、一緒に考えました。また、今回興味をもってください他校の先生や地域学校協働活動を推進しているの方々も一緒になって、約30人で研修をすることができました。

地域学校協働活動の推進をしている藤田亮太さんが余野小学校で取り組んでいることを発表してくださいました。地域をフィールドにしたふるさと学習とキャリア教育の視点での取り組みの報告は、大変参考になるものでした。その後、「社会に開かれた教育課程の実現」について、岡山大学学術研究院教育学域の高瀬教授が講義をしてくださったので、これまでの取り組みを理論的に考え、深めることができる研修でした。

【参加者のアンケートから】

- いい会でした。元気と勇気ができました。あえて地域を変えたのも良かったのだと思います。河内小の先生方にとってもいい経験になったと思います。他の学校でも横展開できるよう私も頑張ります！
- 様々な立場の方との交流ができてよかったです。研修内容もとても勉強になりました。
- 貴重な機会をありがとうございました。真庭市における地域連携の取り組みを知ることができて、進んでいるところは進んでいるんだなと勇気づけられました。また、高瀬先生のお話から、現任校における自身の研究実践を今年度後半や来年度以降の学校経営全体にどう繋げていくかのヒントを得ることができました。また、その根本にある人を大切にされる姿勢に触れることができ、改めてその大切さを実感しました。まだまだ感想は書き足りませんが、本日の話をまずは現任校で回覧するなどして共有していきたいと思います。次の11月の熊谷先生のお話も楽しみです！
- 今回の研修会のキーワードは「説明力」だと思いながら聴いていました。学校と地域がつながっていくことはとても重要だということは分かりつつも、なかなか継続して連携していくことは難しいことだと感じていました。学校から地域の方に協力をお願いすると快く引き受けてくださるけれど、その活動が子どもたちのどのような学びになっているのか、というところまで学校が説明をしていかないと継続した活動やつながりになっていかないということが身に染みて分かりました。学校と地域が連携していくために学校からの「説明力」を大切にしていきたいと思いました。
- 藤田さんの実践発表から、地域に溶け込んで活動しておられる方とつながっていくことが学校にとってもどれだけプラスになるかを余野小学校の先生方からも聞くことができました。また、高瀬先生のご講演からは、学習指導要領の実際の運用について知ることができて大変有益だと感じました。